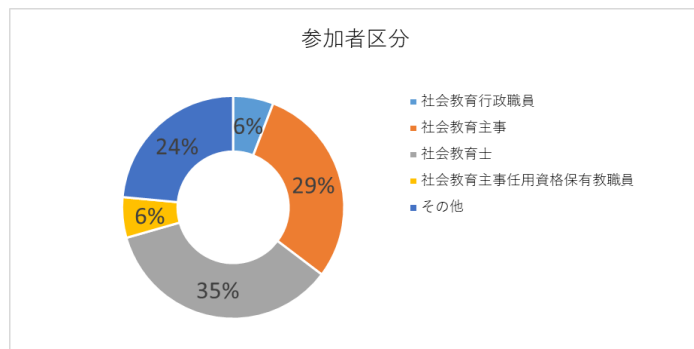


「ひととまちをつなぐファシリテーション」



- 1 事業名 ひととまちをつなぐファシリテーション
- 2 日時 令和6年12月11日（水）9：00～12：10
- 3 場所 かでる2・7 1050 会議室
- 4 人数 18名



I プログラム

9：00 9：10

12：00

受付	開会	ホワイトボード・ミーティング®を用いたひととまちをつなぐファシリテーション (講義・演習)	閉会
----	----	--	----

【講義・演習】

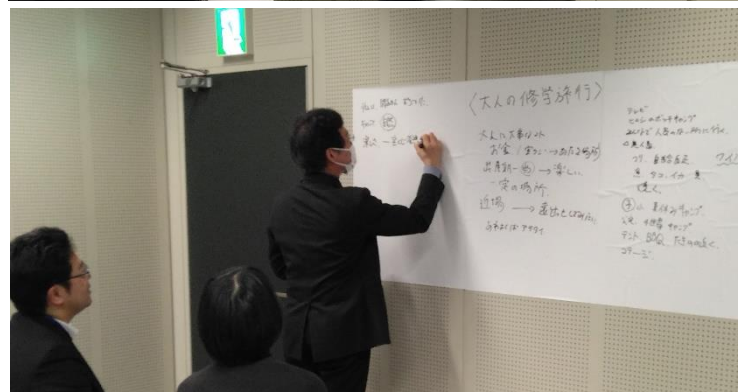
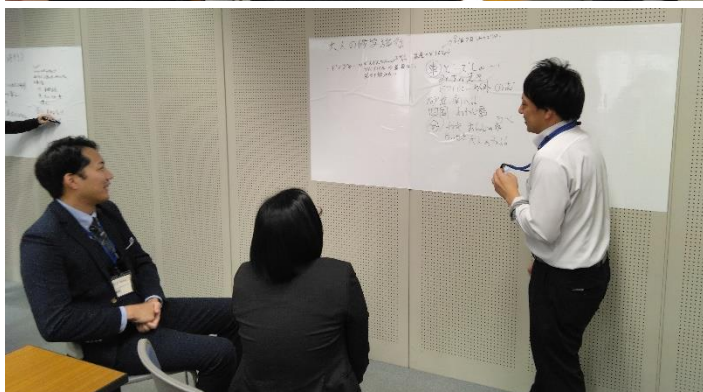
「ホワイトボード・ミーティング®を用いたひととまちをつなぐファシリテーション」

【講師】

ホワイトボード・ミーティング®認定講師
北海道教育大学釧路校 准教授 田中 雅子 氏

【内容】

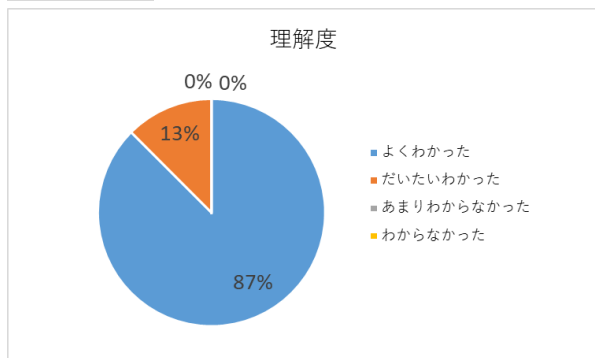
ファシリテーションの手法の一つであるホワイトボード・ミーティング®を学び、多様な人と合意形成を図ったり、課題解決の糸口を見つけたりする効果的な話し合いの技術や方法を習得するため、2人1組によるペア・コミュニケーションや3人1組でホワイトボードを使用し、意見の「発散」「収束」、役割分担の「活用」を実践した。



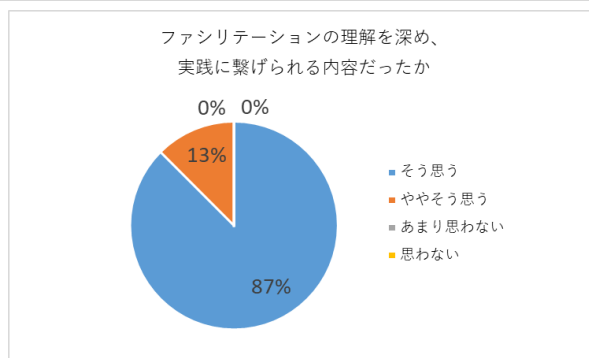
※黒ペンでありのままの発言を書く「発散」、赤ペンで大切にしたいことに線を引く「収束」、青ペンで役割分担を決める「活用」

Ⅱ アンケート結果

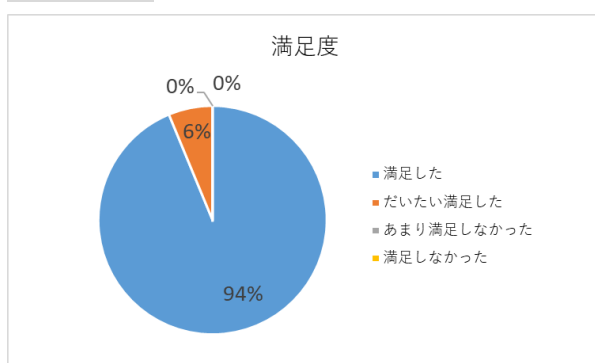
1 理解度



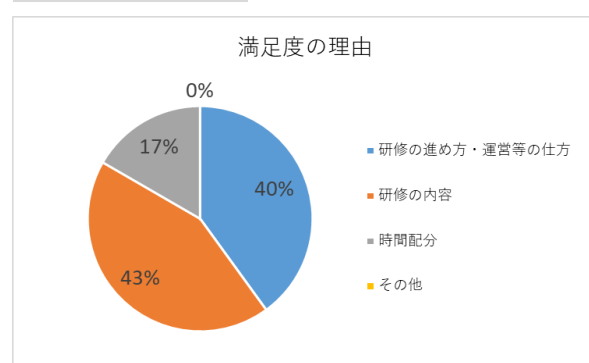
2 ファシリテーションの理解を深め、実践に繋がられる内容だったか



3 満足度



4 満足した理由



Ⅲ 参加者からの声

- ・実際にやってみると、組織の違いはあっても、課題に共通したことが多く、様々な立場からの「収束」「活用」が考えられて大変良かったです。
- ・ファシリテーターとしての心持ちや、エピソードまできくことなど、どんな場面でも使える力だと感じました。
- ・社会教育主事講習をオンラインで受けましたが、その後の研修があるのが嬉しいし、他の地域の人と繋がれる機会があるのも助かります。やはり対面はいいと思いました。

Ⅳ 講師からひとこと

「ファシリテーター役が重荷でしたが、『ファシリテーションはセンスではなく、技術。だから練習すれば、だれでも上達します』という説明を聞いて、肩の荷がおりました！」 講座の最後に一人ひとりの振り返りをしてもらったときの、ある参加者の発言です。他の参加者も「うん、うん」と大きくうなずいていました。

ファシリテーションという言葉は知っていても、何から取り組めばいいのか、という悩みや不安を抱えて参加した方も、この3時間の講座を通して「あ、これなら職場でも取り組めそう！」とヒントが得られたと思います。ファシリテーションは技術です。だからこそ、繰り返しの練習が大切。ぜひ、これからも練習を続けてください。ファシリテーター仲間として応援しております。

Ⅴ 担当者からひとこと

ファシリテーターと言われると、どうしてもかっこよく話をまとめなければならない、と感じていましたが、今回の研修をとおして、ありのまま発散された言葉を可視化することが大切だと学ぶことができました。職場での会議や地域の方々との話し合いの場面で活かすことができるスキルだと思いますので、私自身もどんどん実践して技術を磨いていきたいです。

また、センター職員として、全道各地様々な地域課題あるいは個人で感じている課題の解決の糸口になるような研修を考えて参ります。また皆様と一緒に学ばせていただくと幸いです。この度は御参加いただきありがとうございました。